



愛川ふれあいの村8月の風景

## 平成24年 8月 自然のたより

暦の上では「処暑」を過ぎ、夕方には涼しくなり夏の暑さは落ち着き始めました。愛川ふれあいの村では、まだまだセミの鳴き声が響いていますが、少しずつ秋が近づいてきています。

＜8月の自然のエピソード＞

体育館下のエンジュの根元が白く飾られていました。遠くから見ていると、白い花びらがぼとり、ぼとりと雨のように落ちています。近くまでいくとミツバチがエンジュの蜜を求めて花から花へ飛んでいるのが見えました。実をつけ始めたエンジュの花びらは取れやすくなっており、ミツバチの重みで落ちているようです。



セミの抜け殻。いくつあるかな？



エンジュの蜜を吸うミツバチ



ウバユリ



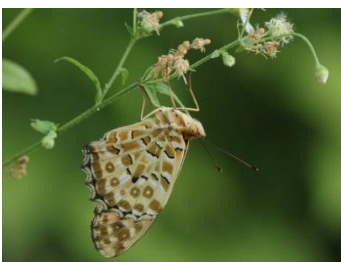
キバラヘリカメムシ



ダイコンソウ



ニホントカゲの子ども



ツマグロヒョウモンのオス



ヤブガラシ



トキヨビカハハミヨウ



キツネノカミソリ



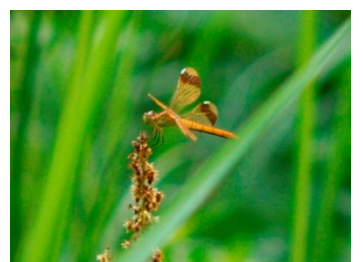
サルスベリ



モンクロシャチホコ



イロハモミジのタネ



ミヤマアカネ